



R4. 6. 18 (R4 年度京土会総会)

京都大学土木会会長

木村 亮 (S57)

只今、栄誉ある京都大学土木会の新しい会長に推挙されました木村亮でございます。清野先生が昭和 57 年卒、昭和 59 年修士修了と言われましたが、私は大学院に 3 年間在籍しまして、実は修了したのは昭和 60 年でございます。57 年卒、60 年修了といたしますと、院浪したように言われるのでいちいち説明するのに時間がかかり面倒くさいのですが、一応本日は会報に掲載されるので説明させていただきます。

私は 2 つのことをやらせていただきたいと思うのですが、その 1 つは卒業生の方々と在校生の方々、それと教員の皆様方の 3 者のネットワークを強化するというところでございます。当然、卒業生のネットワーク、在校生のネットワーク、教員のネットワークは強化いたしますが、その 3 者のネットワークを強化したい。それと、やはり皆様、会費を継続的に払っていただいているので、その会費に見合うお金の使い方を新たに考えさせていただきたいと考えております。清野先生はオンライン講習の実施とか、名簿の会社名で逆に検索できる機能を備えると言われました。この逆引きは就職のときに役に立ちます。学生さんにこの会社にはこういう人がいますよと紹介することができるのですが、現在は検索しにくい状態になっております。清野先生は検討するというどこかの国の首相みたいなことを言っていますが、私の場合は即決で実施させていただきたいと思っておりますので、期待していただければ結構かと思っております。

2 つ目は最近、デジタルトランスフォーメーション DX といって IT とか AI とか IoT で社会を変えるみたいなことを言っていますが、実際私はデジタルよりトランスフォーメーションの方が重要と思っています。これは変容とか変革という意味なので、この京土会も私が会長になることによって、あの時変容したとか、変革したとかというような事業が皆様方のために出来れば非常に素晴らしいことだと、そのために頑張っていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

以上で私の所信表明演説とさせていただきます。